

令和6年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立中野西小学校（外10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立中野西小学校	http://www.kashima.ed.jp/~nakanowel/★01 学校紹介/特別の教育課程の編成の方針について

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月
2018年4月 変更

* 取組の期間
2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

本校では「今日が楽しく、明日が待たれる『魅力ある学校づくり』～子供たち一人一人が『笑顔』で、『感動体験』があり、『夢』や『希望』がもてる学校～」を学校経営の重点としている。児童が笑顔でコミュニケーション活動に取り組めるよう、教育課程の特例校として外国語科、外国語活動の充実を図り自国文化や異文化の理解促進を進めている。小学校1、2年生の外国語活動で期待される効果と手立ては以下のとおりである。

- ・低学年から外国語に慣れ親しみ、言葉で表現する機会を取り入れることで、臆することなく外国語を使ってコミュニケーションをしようとし、3年生から学習する「外国語活動」を円滑に進めることができる。
- ・表現力が十分でないと感じる所があるので、楽しみながら人に伝える（アウトプット）場を増やしていく必要がある。

（2）課題の改善のための取組の方向性

- ・授業でインプットしたことをアウトプットするために、授業以外でもALTと英語を使って交流できる「イングリッシュ ラウンジ」等、英語を使った体験活動を取り入れることで、人に伝える楽しさを体験できるようにする。
- ・季節のイベントに合わせて楽しめる、英語の歌を授業に継続して取り入れる。
- ・児童にとって身近で興味のあることについて、英語を使い楽しめるようにする。